令和 6 年 6 月 8 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム　久米の家
サービス種類…認知症対応型共同生活介護
　　共用型認知症通所介護
会議開催日…令和 6 年 5 月 22 日（水）　13 時 30 分～15 時 00 分まで
開催場所…グループホーム　久米の家　ホール
出席者

事業所	2 人	利用者	2 人
利用者家族	0 人	地域代表者	6 人
松江市職員	1 人	包括支援センター	0 人
知見を有する者	0 人	その他（NPO 法人　理事長　）	1 人

議事
○令和 6 年度の事業所体制について

グループホーム

◆基本料金

介護度	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
単価（1 日）	761	765	801	824	841	859

◆加算
・医療連携体制加算（Ⅰ）ハ　37 円/日
・協力医療機関連携加算　100 円/日
・高齢者施設等感染対応向上加算（Ⅱ）5 円/日
・生産性向上推進体制加算（Ⅱ）　10 円/日
・認知症専門ケア加算（Ⅰ）　3 円/日
・サービス提供体制加算（Ⅰ）　22 円/日
・介護職員等処遇改善加算（Ⅰ）　4 月・5 月
・介護職員等処遇改善加算（Ⅲ）　6 月から

発生時加算
・初期加算
・看取り介護加算
・退居時相談援助加算
・若年性認知症受入加算
・新興感染症等施設治療費

共用型認知症通所介護

◆基本料金

介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
7～8 時間	523	542	560	578	598

◆加算

・入浴加算（Ⅰ）　40 円/回
・サービス提供体制強化加算（Ⅰ）22 円/日
・介護職員等処遇改善加算（Ⅰ）　4 月・5 月
・介護職員等処遇改善加算（Ⅲ）　6 月から

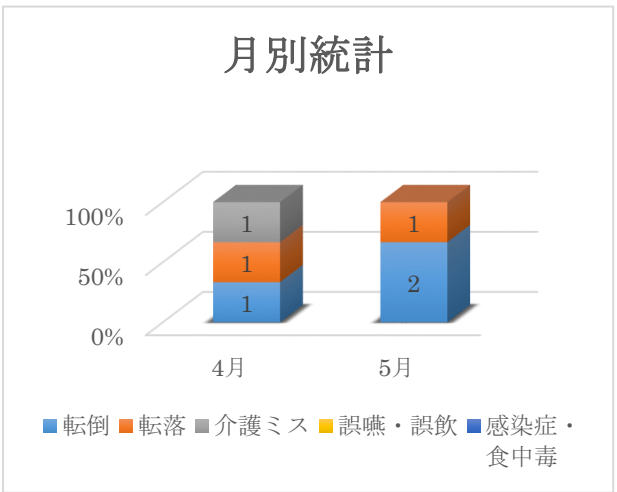
○活動報告と現状報告

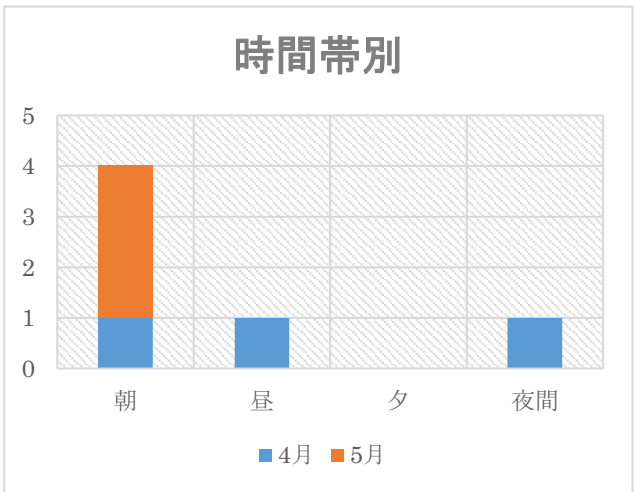
利用者　9 名（女性 7 名　男性 2 名）
年　齢　平均 87.4 歳
介護度　介護 1（2 名）　介護 2（3 名）　介護 3（1 名）
介護 4（2 名）　介護 5（1 名）　平均 2.7
共用型通所　利用者 1 名　78 歳　女性　介護度 1　週 5 日通い
職員　管理者 1 名　ケアマネージャー1 名
介護職員 10 人（常勤 7 人　非常勤 3 人・短縮時間制度利用 2 名）
介護福祉士取得取得　9 人
認知症基礎研修　1 人
調理職員 4 名（非常勤 4 名）

・行事やレク等報告

パワーポイントで写真を使って発表する

・ヒヤリハット報告





・事故

なし

・施設内研修

LINEWORKS 研修

BCP シュミレーション訓練

地震　シェイクアウト訓練

入浴介助研修

・施設外研修

LINEWORKS 研修

認知症基礎研修 e ラーニング

・委員会

BCP 委員会 …BCP 計画の見直し

虐待防止委員会…不適切チェックリストの活用

○BCP シュミレーション訓練後の改善点

・訓練の概要を説明し、パワーポイントで「誘導班」「救護班」「情報班」の取り組みを発表する。実際に訓練後、訓練参加職員で振り返りを行い改善を行ったことを伝える。また、実際に避難物品も使用してみる。

見直しした事項

・ビニールベットを段ボールベットに変更と段ボールパーテーション
・ADL の見える化をもう少しはっきりとわかるように表示変更
・避難先の併設施設先の配置再検討…実際にカセットフードを設置する場所に困った
・日頃からの点検場所に土のうが欲しかった
・圧倒的に非常電力不足…太陽光やビジネス蓄電池の提案
・共用型通所ご利用者先のケアハウスと連携
・ハザートマップの使い方徹底
・避難時の職員の恰好（首からぶら下げる物が多く避難誘導の妨げになった）の見直し
・避難時に車椅子不足
・地域との連携の仕方
・ホームの鍵の場所を知らない職員がいた（早速統一）
・避難先が 2 階で非常階段がイエローゾーンでゴミを出す場所がなかった（感染時）
・職員間での LINEWORKS の使い方

意見交換

（地域の方より）

・備蓄品は必要と思うが計画的にそこまで細かい事を決めていないといけないのか。
・自治体でもまだ準備が出来ていない段階であり、まだどういう風に久米の家と連携していくか想像が出来ていない状況である。地域も高齢化である。
・個人情報の事もあり、地域の協力体制の難しさも地域住民として感じている。

（事業所より）
・事業所が先走ってしまい地域との協力体制が計画の中でも曖昧になっている。
・近隣にどんどんアパートが出来てきて、何処までの範囲で協力体制を構築していいかわからなくなってきている。
➡地域でも個人情報の事や世代の違いもあり、要望するのが難しいと感じている。
・今回の議題とは異なるがホームで認知症の進行で歯科や眼科に受診困難なご利用者が増えご家族も医療に不安を感じておられる現状を相談する。認知の重度化で歯科の診療内容や眼科の検査理解が出来ないかたが多く、医療機関からも検査や治療の協力が出来ないことに対して言われ結局その先の治療が出来ない現状を相談する。
➡行政職員持ち帰って保健師に相談を試みると前向きな提案あり。

（他 NPO 法人　代表理事）
・運営している障がい施設でも非常用電源は、PC や携帯等の充電までのポータブル電源は準備しているが、それ以上のものはない。
・障がいの施設は、運営推進会議がなく、運営推進会議について聞かれ、市職員から説明を受けられる。
（その他意見交換）
・認知症基礎研修 e ラーニングを終了した職員より推進会議で研修報告を行う。
・新規調理職員が自己紹介を行う。

※事業所確認欄

□活動報告についての評価を受けることができたか。	○
□要望・助言等受ける機会を設けたか。	○